

みんなのギカイ

6月議会の内容をわかりやすくお知らせします

目次

予算……………	P1～
委員会……………	P3～
一般質問……………	P5～
きかせてあなたの未来 ……………	P11

● 6月定例会 ●

宇陀市のこんなことが 決まりました。

6月定例会 6月7日～6月24日
今回の議案は

市長提出議案… 7議案
人事… 13議案

今号では
この中から
3つを
Pick up

全ての議案名と結果は宇陀市ホームページをご覧ください。
議会事務局へお問い合わせ下さい。

Pick up 1

新型コロナウイルススワクチン接種体制の拡充など 約1億8500万円の予算を追加しました

新型コロナウイルススワクチン接種の早期展開を図るため、6月中旬より会場を宇陀市総合体育館に変更して7月中に高齢者への接種を完了させます。8月以降も集団接種体制を維持して希望するすべての市民が接種を受けられる体制を整えます。医師や医療従事者の確保のために3940万円を確保しました。

他にも新型コロナウイルス感染拡大の防止をはじめコロナ禍で様々な影響を受けている方々への支援に3686万円、地域医療提供構築に係る移動診療車の購入等に9650万円、その他、国庫補助金の確定に伴い毛皮革産業振興協議会が実施する事業に対する負担金、市職員のところの相談窓口設置事業、断らない福祉相談支援体制構築事業などへの支出が決まりました。

こんな質問が出ました

質問 市職員を対象としたところの相談窓口が新たに設けられます。今までも職員のメンタルヘルスを守る取り組みは行われていたのでしょうか。

答弁 ところの相談窓口は職員の死亡事案に関する有識者会議の答申を受けて設置されることになりました。今までも全職員を対象とした任意のストレスチェックや勤務状況や異動の希望

などを自己申告する制度を運用して職員のメンタルヘルスを守る取り組みを行ってきましたが、職員ではない第三者に相談できる新しい制度を導入することにいたしました。相談は専門家である社会保険労務士が行います。

質問 断らない福祉相談支援体制構築事業は国の補助を受けて行う事業ですが、補助は今年限りではありませんか。来年度以降も事業実施はできますか。

答弁 介護と生活困窮、就労支援など福祉の現場では複数の問題を抱えている世帯があり、複数の部署が連携をして対処しなければならぬ事案が出てくる場合があります。その際に医療介護あんしんセンターが調整役となって対応できる体制を整えます。2ヶ月に1度会議を行うとともに必要に応じて会議を行っています。今年度は事務局体制の構築のための補助が行われますが、来年度以降も国からの補助を見込んでいます。

質問 移動診療車の購入について見積もりなどはすでにされているのでしょうか。

答弁 診療を担う市立病院の医師の希望を聞いた上で、見積もりを取って今回の予算案の目安としました。予算が確定しましたら、入札を行って9月定例会に購入の承認を求める議案を提案する予定です。

移動診療車が
配備されます



広島県が運行している移動診療車
(提供 神石高原町)
宇陀市が導入を予定している移動
診療車とは異なります

宇陀市の地域医療の課題と対策

大宇陀地域では、平成29年より開業医の閉院が相次ぎ、市内全域でも今後とも開業医の高齢化や後継者不足などによって、第1次医療機関（診療所・医院など）が減少する地域が増えることが予想されます。

それとは逆に、医療と介護を必要とする後期高齢者が増加する傾向にある一方、サービスを提供する医療従事者や介護従事者が減少し、市民側のニーズに対応できなくなるといったことが予測されます。

これらの課題を少しでも取り除くことを目的に、市の関係部署と宇陀市立病院が、平成30年に「宇陀地域の医療を考えるワーキングチーム」を立ち上げ、様々な角度から検討を重ねてきた結果、医療過疎地域に、診療所を仮設できる機動力を持った「移動診療車」を配備し、それにより地域医療サービスの提供を図ることとなりました。

移動診療車の利点

- 移動診療車（1台）を導入することで、医療過疎地域への医療提供と支援が行えます。
- 医療需用に対し機動的に診療所を仮設することができま
- 災害時における緊急の出勤や、発熱外来など感染症対策も行えます。

移動診療車の概要

- 車両の規模は全長約10メートルのバスに診察室とX線撮影室を完備

- 車両搭載機能は心電図・エコー装置・生体モニタ・AED・検体検査機器・血液ガス分析器を搭載

- 車両購入予定価格約4530万円
- 搭載医療機器購入予定価格約5100万円

医療診療所想定地域

- ◇ 大宇陀北部・南部地域

※今後、地域医療が希薄となる地域においても移動診療車を配備していく計画です。

診療頻度

- ◇ 週1回、各会場での診療を実施

運用開始

- ◇ 令和4年度から運用開始予定



超音波撮影装置

生体モニター

心電図

血液検査装置

Pick up 2

宇陀市職員の 特殊勤務手当が 一部改正になりました

●市立病院に勤務する医療従事者及び職員が、新型コロナウイルス感染症に係る作業に従事する際に支給する手当を、現行の3千円と4千円から8千円以内に変更します。

●市立病院及び診療所に勤務する医療従事者が新型コロナウイルスワクチン接種事業に従事した場合の手当を、医師は1日当たり9万円以内、看護師及び薬剤師は1日当たり2万4千円以内に変更します。

こんな質問が出ました

質問 金額算出の根拠は何ですか。

答弁 奈良県や近隣の桜井市、天理市の基準を参考にしています。なお、宇陀市は、医師は1時間当たり1万5千円、看護師・薬剤師は1時間当たり3千円ということになり、勤務時間が4時間以下の場合には2分の1になります。



Pick up 3

宇陀市仕事づくり 協力隊の活躍に期待！ 【NCL】

『Next Commons Lab奥大和』（NCL）は、宇陀市を玄関口とする大和高原において、『食』や『農』の分野を中心とした魅力ある仕事づくりのため、平成28年12月にルート製薬(株)と奈良県及び宇陀市において連携協定を締結し、大和高原仕事づくり協議会が設立されて始まったプロジェクトです。

平成29年4月のスタートで、協力隊メンバーは3年間の研修期間で起業を目指して取り組みます。メンバーは20代から40代の若い世代です。すでに卒業された方もおり、今後のご活躍に大変期待しています。

【協力隊メンバーのご紹介】

★米田 義則さん（榛原出身）東京からUターン
『宇陀産ハーバルビールができました』
奥大和ビール（大宇陀道の駅隣・榛原駅前）

★安部 史織さん（大阪出身）
『馬たちとあそぶ、まなぶ、はたらく』
馬小屋Abi（アビイ）
（榛原石田 旧伊那佐幼稚園隣）

★栢森 康晴さん（桜井出身）
『地元の農産品を使った和風ジェラート』
ジェラテリアAnnona（ノンナ）
（榛原額井 Aコープ隣）

★那須 礼二さん（岩手出身）
『みんなで醸すブルワリー』
ながぼ荘（榛原駅前商店街内）

★川原 菜緒さん（福岡出身）
『丁寧な暮らしと空間のプロデュース』
Amugu（アムグ）
手芸品・手編み専門にデザイン・製作。
（室生下田口）

★松岡 志帆さん（桜井出身）
『菓子のコースのお店』
Purje（プルイエ）
（大宇陀下宮奥 宮奥ダム近く）

★板原 梯子さん（大阪出身）
『宇陀の暮らしと野菜のメディア、うだベジ』
うだベジ（やさいごはんの食育事業）や食
ベログ等、現在、準備中。

【他にも現在、研修中のメンバー】

★富羽 一成さん（香川出身）
『食器をはじめとする竹細工』

★昆野 友紀さん（大阪出身）
『熟成肉を取り扱った飲食店』

★入江 透さん（愛知出身）
『宇陀市産の野菜等を使ったカレーとスープ』

★田島 浩樹さん（兵庫出身）
『木屑を使った食事空間に関わる
プロダクト開発』

★宮本 美妃子さん（大阪出身）
『宇陀の自然の恵みを活かした
カフェ&コミュニティスペース』

新型コロナウイルスワクチン接種特設会場リハーサルの見学を行いました

6月19日（土）から開始の高齢者向け集団接種に向けたリハーサル（6月17日開催）を見学し、受付、問診、接種といった一連の手順を議員も体験しました。

この特設会場接種については、市から事前に説明をいただき、市議会では接種会場までのバス運行を高齢者が利用しやすいよう、停車場をきめ細かくしてもらうなど、様々な協議をさせていただいております。



Topics

桜井宇陀広域連合議会からのお知らせ

今年度の桜井宇陀広域連合（桜井市・宇陀市・曾爾村・御杖村）主催の「圏域交流活性化事業」は平成榛原子供のもり公園が会場となります。

子どもたちが学び、楽しみ、感動を体験するイベントを開催します。

桜井宇陀の自然を遊びつくそう！

【平森サマー】

日時：8月21日（土）

10時～16時 雨天中止

● 体験イベントは事前予約が必要な場合がありますので、申し込み、その他詳細については広報つた8月号、または桜井宇陀広域連合ホームページをご覧ください。

※ふるさと物産展と同時開催します。



福祉文教常任委員長が変わりました

松浦利久子議員が一身上の都合により福祉文教常任委員長を辞任されました。

6月7日に福祉文教常任委員会が開催され、多田與四朗議員が後任の委員長に決まりました。



みやた みき
宮田 美紀
議員

コロナ禍における行政支援について

質問 緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付が実施されておりませんが、現在の申請件数と決定件数、コロナ禍以前からの推移についてお聞きします。

答弁 緊急小口資金は124件、総合支援資金は84件で、ともに申請の件数と同数です。新型コロナウイルスによる影響で増加しております。

質問 生理の貧困について、支援が必要であると考えますが、宇陀市の対策はどのように考えておられるかお聞きします。

答弁 現在のところ各学校からは困っている児童・生徒の報告はありません。国の動向も見ながら、継続的な取り組みができないか検討してまいりたいと思っております。また、社会福祉協議会とも協議をしながら生理用品の配布ができないかということを検討していきたいと考えています。

質問 新型コロナウイルスの感染、または濃厚接触者に該当した場合の買い物支援についてお聞きします。

答弁 受付の窓口につきましては、健康増進課の方でお受けしたいと思っておりますが、状況に応じて対応する課を決めて支援してまいります。

質問 病後児保育の予約をデジタル化するなど利用しやすい仕組みづくりについてはどのようにお考えでしょうか。

答弁 利用者数が減少している事も考えますと、そういったことも必要であると考えますので、今後改善してまいりたいと思っております。

質問 市長から見た現状と課題、また解決についてはどのように感じておられるでしょうか。

答弁 今後とも引き続き雇用の支援、経済の支援、日常生活の支援という幅の広い支援ですが、緊急に対応するように取り組んでまいります。生理の貧困については、ジェンダー問題、また女性のしんどさという風にとらえています。病児・病後児保育については引き続き調査研究を行ってまいりたいと思えます。

●その他、病後児保育の拡充について質問しました。



いたに けんじ
井谷 憲司
議員

新型コロナウイルスのワクチン接種の状況について

質問 65歳以上の希望者の接種を終えた後、64歳以下の希望者の接種についてはどうなっていくのかお尋ねします。

答弁 64歳以下の方については、6月25日に郵送にて接種券をお届けし、市の集団接種の予約希望者については、郵送で返信して頂きます。9月末まで体育館で集団接種を実施するようになっており、7月末で65歳以上の希望者の接種が終われば、64歳以下の基礎疾患をお持ちの方を優先して順次接種を行っていきます。

質問 大阪の大規模接種会場等での接種についてどうなのかお尋ねします。

答弁 自衛隊の大規模接種会場や他の会場でも接種券があれば可能となります。

1回目を他の会場で接種し、2回目を宇陀市での接種を希望される方は、ワクチンの種類がいつしよであれば可能となりますので、市のワクチン接種対策室（96-9030）にお問い合わせ頂ければと思います。

質問 市長のお考えをお尋ねします。

答弁 接種会場では、毎日確認会議を行い、他のまちの情報等を共有してトラブルなどが起こらないよう努めています。市民の皆様には、接種が終わってもしばらくの間ご不自由をお掛けしますが、感染を予防する生活を続けて頂きたいと重ねてお願いして参ります。

宇陀市の子育て支援について

質問 子育て支援の政策を更に積み上げていく事は必要ですが、その上で、今後の宇陀市の市政を進めていく柱の一つとして、『子どもを守り、育てる』という事を理念とした条例を制定してはどうかと考えますが、教育長と市長のご見解をお尋ねします。

答弁（教育長） すべての子どもの尊厳を守り、健やかな成長を守っていく為に、改めて子どもの権利や子育てに関する理念を示すことは、宇陀市の教育にとって意義があると考えます。

答弁（市長） 市が子どもの権利を尊重して施策展開を図っているという主体的なメッセージを、市民や子ども達に届ける為の手段であると考えています。今後、条例の必要性、方向性も含めて部局横断的に調査・研究をして参りたいと考えています。



やぎ かつひこ
八木 勝光
議員

宇陀市の林業振興と 木質バイオマス発電について

質問 宇陀市の林業の実情と課題にはどのようなものがありますか。

答弁 森林面積は市の全面積の約74%を占め、森林施業を行う林家は1191戸です。木材価格の長期低迷、放置林が増加し、林業従事者の高齢化や担い手不足、それらに伴う「森林環境保全機能の深刻な低下」が課題となっています。

質問 木質バイオマス発電とは。その現状と将来性は。

答弁 地球温暖化防止のための再生可能エネルギーの一つであり、間伐材等の活用により発電を行うものです。県内では1カ所稼働しています。太陽光発電や風力発電に比べて安定した発電が可能です。木材の調達に課題です。

質問 宇陀市の豊富な森林資源を活用し、適切な森林管理、エネルギーの地産地消、新しい産業と雇用の創出等に貢献する木質バイオマス発電の具体化を。

答弁 木質バイオマス発電はメリットがありますが、木材の搬出、運搬、チップへの加工等様々なコストがかかります。国内の事例を参考にしながら研究を行っていきます。

公用車の管理について

質問 市が所有する公用車の台数と内訳及び他市と比べての状況は。

答弁 普通会計では総数で205台、他に病院、水道等の企業会計が23台で、市全体では228台です。ドライブレコーダーは110台に設置しており、今後全車両に整備していきます。消防車を除いた台数の多い順は、五條市186台、橿原市167台、宇陀市137台、生駒市133台、桜井市111台となっています。

質問 過去5年間の事故件数は。

答弁 総数で17件、年平均では3.4件です。対物9、対人1、自損が7で整備不良が原因の事故はありません。

質問 台数削減等行政改革の取り組みはどうなっていますか。

答弁 合併後普通会計では、66台の削減を行い、処分が決定した車両はオークションにかけ、5力年で57台を売却し、約1244万円の実績となっています。



かめい まさゆき
亀井 雅之
議員

田淵教育長の所信について

質問 宇陀市第6代教育長に就任された田淵教育長の宇陀市の教育全般についての所信を伺います。

答弁 国の動きや社会の動向を注視し、常に一歩先を視野に入れ、宇陀市の特色を十分反映させた宇陀らしさが生きる教育行政を進めるために①確かな学力を育む学校づくり②安心して通える学校づくり③情報化社会に対応した教育の推進④生涯教育の充実に力を注ぎます。

また、誰もが心豊かに健康で、生きがいのある人生を過ごすため、生涯にわたる社会教育や家庭教育、学校教育を包含する生涯学習が大切であると考えています。さらに、学校・家庭・地域の連携で、市民が心豊かで安心できる生涯学習社会の構築をめざし、取り組んでいく決意です。

家庭教育支援について

質問 家庭教育は「すべての教育の出発点であり教育の原点」とされ、その意味からも子どもたちにとっての家庭は、安心できる居場所であり、社会へ巣立っていくための欠かせない拠り所であればなりません。そこで、令和3年3月に一部改訂された宇陀市教育大綱の基本目標である「家庭の豊かな教育力を育もう」家庭教育でのひとつ「〜」を通して、市の家庭教育支援の具体的な取組を伺います。

答弁 教育委員会では、学校など家庭が協働し、子どもの基本的な生活習慣、規範意識の育成を図ることや家庭・学校・地域の連携による学校地域パートナーシップ事業による人権学習や体験活動を通して、社会性を培うことで人とのつながりの大切さを学ぶ取組を推進しています。また、子育て支援や就学前教育、保護者の学びについても福祉部局や関係機関と連携し、相談体制の充実強化を図っているところです。

質問 近年の核家族化や様々な要因を背景に、子育てや家庭教育に関する悩みを抱える保護者が増加傾向にあります。市の現状と対応、また、支援法の整備について伺います。

答弁 悩みの相談相手の減少など、アンケート結果から明らかになっている実態を踏まえ、第2期宇陀市子ども・子育て支援事業計画の7点の重要施策（115事業）と宇陀市教育大綱の実現による家庭教育支援を確実に進めていきます。



たなか たけし
田中 剛志
議員

災害時の避難について

質問 緊急避難場所についてですが、風水害時に×印がある避難場所があります。そのような地域の避難場所は、どのようになっていますか。

答弁 法令で定める基準に適合する施設又は場所を、種類ごとに指定避難場所と定めることとなっています。災害の種類によっては、開設しない避難場所があります。避難場所・避難所以外にも自宅、親戚知人宅、ホテル・旅館、車中泊などの避難先を想定する必要があります。

質問 遠い避難場所へは、高齢者の方も多く、道路の安全性にも問題があり、安全に避難できると考えておられますか。

答弁 配慮を必要とする高齢者や障がいをお持ちの方など要配慮者の方から、犠牲者を出さないよう、避難行動要支援者名簿を活用した実効性のある避難支援ができるよう、家族や福祉事業者、地域の方々と連携を図り、個人の避難計画を策定している状況です。

質問 避難所で受け入れるキャパシティはありますか。

答弁 大地震が発生した場合の避難数を7,200名と想定しております。耐震工事が完了している小中学校10校を拠点と位置付けており、コロナ対策を行い、施設利用計画を作成しております。

質問 避難所についても×印がついている施設がありますがなぜですか。

答弁 基準を満たさない施設は、指定を見直す方向で検討しているところです。

質問 菟田野の宇賀志小学校跡地にコミュニティを建てると聞いています。他の地域にも同じようにするお考えはありませんか。

答弁 既存施設を開設できるような補強対策をし、使用できない施設については、関係部局と協議し検討していきます。

質問 市長、宇陀市の現状を見た時に多くの問題があります。答弁ください。

答弁 国や県の動きや最新の知見をもって、現場の状況を確認していますが、ご指摘のようにまだまだ課題があります。自助・共助・公助の推進、国や県とのネットワークの強化など、あらゆる取り組みを通じて日々改善を重ねてまいります。



にしおかひろやす
西岡 宏泰
議員

再スタート予算について

質問 市長が標榜されている「再スタート」の意味と内容は。

答弁 令和3年度当初予算の編成につきましては、私が市長就任後初めて、一から携わった予算となりました。市民の方々の様々なご付託に因應するという事で予算を編成することを念頭において進めて参りました。奈良県からの「重症警報」ということもあり早急に県と連携して、重症警報からの脱却に取り組みとともに、これまでの混乱と停滞、将来への出口が見えなかった過去に戻してはいけません。その為もう一度出直して、令和3年度の予算は「直面する危機を克服し、未来を拓く再スタート予算」と名付け、再起を期すことといたしました。

再度問う『公の施設の指定管理者制度』について

質問 協定保証金の必要性和預かり制度について。

答弁 協定保証金のメリットにつきましては、万一、指定管理者が基本

協定書に定められた支払い義務を怠ったとき、又はやむを得ず指定管理者の行うべき行為を市が代替して行う場合に費用が発生した場合は、協定保証金をもって弁済に充当でき、市の負担なく対応ができることです。

一方で事業内容が異なりますが、他の指定管理施設には協定保証金制度を取り入れていないことから、今後は市外の類似施設の制度も参考にしながら、心の森多世代交流プラザの第5期指定管理までには、協定保証金制度の在り方も踏まえまして、市及び指定管理者に有意義な施策について検討してまいります。

質問 不公平・不平等な施設運営は如何なものか、方策はあるか。

答弁 指定管理者の選定にあたっては、それぞれの施設の性格や規模、機能等を考慮し設置目的を効果的に達成するため、指定管理者を選定しています。

今後も、指定管理者の公募や非公募の応募方法、定額納付金の設定などについては、施設の設置目的、利用状況、管理運営状況などを踏まえ、合理的な管理者が特定できるよう選定を行います。

意見

市・管理者にメリットが生じる指定管理者制度にして頂きたい。



いどい えまさお
井戸家 理夫
議員

子育て支援の充実・ 学童保育について

質問 宇陀市の人口減少に歯止めをかける方策として「子育て支援の充実」が有益であると思います。学童保育所の保育料のさらなる見直しについて必要と考えますが、市の見解をお伺いします。

答弁 前回一般質問で、延長保育料の減免等についての提案をいただきました。登録229人に対し148人（64.6%）児童が延長制度を利用されており、延長保育の利用ニーズは高いものと認識しております。新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のひとり親世帯の家計の経常収支は大きく悪化、このように影響を受けている世帯に対して、この度、特別給付金が給付されます。このような国の対策を受けて、宇陀市においても、ひとり親世帯への支援という観点から、学童保育室の延長保育の減免について検討して参りたいと考えています。

●要望

継続的な子育て世代の負担軽減についてよろしく願います。

ヤングケアラーに対する 支援について

質問 ヤングケアラーとは、厚生労働省は「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども」とし、具体的には「障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている」「家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている」「目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている」「障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている」子どもたちとして事例があげられています。

先月、国が行った調査では、中学・高校でークラスに1〜2人のヤングケアラーがいることが判明しました。宇陀市としてどのような支援策を推進しなければならぬと考えているかお聞かせください。

答弁 子どもやその家庭の違和感に周りが早く気づくことです。そして、子どもや保護者が話しやすい雰囲気をつくること、地域の皆様の気づきや温かい声かけ、支援へのつなぎが大切だと思います。ヤングケアラーの問題に対しては、複合的な対応が求められており、一つの機関では解決できない問題になっております。市の「重層的支援体制整備事業」を利用し、「宇陀っ子」の笑顔あふれるまちを目指して、取り組んでいきたいと考えています。



かつい たらう
勝井 太郎
議員

熱中症対策について

質問 大阪では体育の授業中にマスクを着用して持久走をしていた児童が死亡する事故が起きています。児童・生徒に対する熱中症対策はどのようにしていますか。

答弁 国からの通達もあり、屋外で行う体育の授業の際にはマスクを着用する必要はないと指導しています。ただし、着用を希望する児童・生徒には着用しても構わないとしています。

●要望

マスク着用は子どもに大きな負担をかけます。また、厚生労働省が公開しているデータを確認すると若年層はコロナの重篤化リスクがかなり低くなっています。ワクチン接種が順調に進むことを前提にマスク着用義務を解除していくことも検討してください。

地場産業の育成について

質問 地場産業を盛り上げていく上で市と地元企業や農家との連携が必要ではないでしょうか。地元企業が

市が保有する商業施設の運営に参入できる体制を整える必要があると思われます。市の見解をお伺いします。

答弁 特産品や加工品を地元企業や農家と連携して、農産物の確保や新たな地場産品の開発を行うには、高齢化や担い手不足により、特色ある農産物を生産することが困難で、新しい地場産品の開発などになかなかつながらないのが現状です。市としては指定管理者との情報共有、連携を図りながら地元企業や農家との連携、育成について指定管理者とともに研究したいと考えています。

質問 全国の道の駅の指定管理者制度の運用状況を調べたところ、指定管理の期間は、5年〜10年が大半でした。一方で宇陀市は道の駅を含む商業施設の指定管理期間が3年です。企業が設備投資をして回収するまでの期間は5〜10年です。宇陀市が指定管理者制度を導入している商業施設は指定管理者の途中撤退など不安定な運営が続いています。今後改善する必要があるのではないのでしょうか。

答弁 今度も引き続き指定管理者制度に基づく施設運営を行うために、市街の類似施設の制度も参考にしながら、市および指定管理者に有意義な施策や条件を検討しなければならぬと考えています。



ひろざわ たかひで
廣澤 孝英
議員

榎原駅前まちづくり計画について

質問 奈良県とのまちづくりに関する包括協定の榎原地区の状況とまちづくり検討委員会に提案する計画と作成状況について。

答弁 近鉄榎原駅周辺地区につきましては、榎原駅前を都市機能集積エリア、宇陀市総合運動場付近では、健康増進エリアとスポーツツーリズムとしての拠点の検討を進めているところです。基本構想にもありますが、近鉄榎原駅周辺地区の位置づけは、奈良県東部の玄関口であるとともに本市の玄関口であり、大和高原の魅力発信の場、まちの賑わいが創出する場、生活に必要な機能が集積する場であることを検討しており、榎原駅前をリニューアルとする基本計画の策定を行っている状況です。検討委員会の開催は、案を立て8月に行いたいと考えています。

質問 ミスタードーナツ跡地利用について。

答弁 市内の「榎原駅前活性化プロジェクト」

「シエクトチーム会議」で検討していくこととして、先日たたき台を皆で意見交換し、役割分担もしたところで、まず、近鉄様に問い合わせたところ、ミスタードーナツ跡地については、閉鎖後2年半企業からの問い合わせは無く、行政が利用するならば、土地賃借料は安価で良いと確認しました。市民の皆様や来訪者が県東部の玄関口である榎原駅に集い、休憩できる場や土産ものなどがある場所、また市のPRのできる場所など、複合的に考え、魅力ある駅前にするべきであるとプロジェクトチーム会議の結論に至っております。市としては、安価で将来は撤去も可能な建築物で整備し、中身で何をするかに重点を置き、また経費のかからない運営方法を検討して参ります。

少子化における就学前教育について

質問 国のトリプル改定により、どのような幼児教育が各園で進められているのかについて。

答弁 平成29年度に、各施設で行う教育が同じ方向性をもって、スムーズに小学校での学びにつなげていくことを目的に、「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が同時に改定され、この方針に沿って各園で幼児教育に取り組んでいます。



まつうら りくこ
松浦 利久子
議員

子どもたちの学びについて

質問 学習指導要領が改訂され道徳が「特別な教科」となり、教科化されました。その背景の一つにいじめの問題があげられています。軸となる授業内容をお聞かせください。

答弁 各小中学校では教科書を用いた学習を原則として週に1単位時間行っています。具体的には「自分自身との関わり」や「人との関わり」、「集団や社会との関わり」、「生命や自然、崇高なものとの関わり」といった4つの視点から、善悪の判断、思いやり、家族愛、生命の尊重など具体的な道徳的価値観について学習しています。子どもたちが自ら考え、他者と対話し協働しながら、より良い生き方を見出すことができるようにする内容となっております。

質問 評価はどのようにされていますか。

答弁 数値による評価ではなく、個々の道徳性に係る成長の様子を認め励ますものとなる様に記述式で行っています。

質問 知的発達の遅れがないものの、読み書き、算数・計算など、様々な困難に直面している学習障害の児童、生徒がいます。学校での取り組みをお聞かせください。

答弁 特別支援学級や通級指導教室での学習を中心に自分のペースに合わせて障害を克服することができるように取り組んでいます。それぞれの子どもが困難と感ずることが解消できるよう指導に努めています。

質問 障害の有無に関わらず文字の形がわかりやすく、多くの人が読みやすいように作られた字体のユニバーサルフォントのUDデジタル教科書ですが、各学校での使用はどれくらい進められていますか。

答弁 学校が作成する文書で積極的に使用していますが、今後も不特定多数に配布する文書など、使用目的に応じて活用するように努めます。しかし、子どもたちの身の回りの生活には様々な書体が存在し、そこから受けるイメージはそれぞれ異なり、自分の表現したいイメージに合わせて書体を選らんで使うことも大切です。教育委員会が学校で使う文書は一律にUDフォントを使うように求めるものではないと考えています。

●他に、GIGAスクール構想、色覚検査などについて質問しました。



うえだ のぼる
上田 徳
議員

美榛苑指定管理事業における平成30年度定額納付金未収金の取り扱いについて

質問 指定管理事業者からの定額納付金が未収金と成っています。事業の発生状況について説明を求めます。

答弁 市は、美榛苑の老朽化に伴う新たな代替の宿泊施設の建設、宿泊事業者誘致事業、公園事業の推進を目的に、老朽化が進む美榛苑に代わる、新たな宿泊整備を計画しています。

しかし、前市長が、宿泊事業者誘致の中止を発表したことにより、市が一方的に引き起こした、政治的・行政的理由に基づく、混乱・対立の状況を、マスコミ各社が報道しました。そのため、前指定管理者は、美榛苑の老朽化問題が大きくクローズアップされ、美榛苑の老朽化が深刻であるとの風評被害が発生したと主張しています。

「基本協定書に規定する仕様書」には、「政治、行政的理由から、施設管理運営業務の継続に支障が生じた場合による増加経費負担」の項目があります。その増加経費の負担者は、全額市で

あると明記されているため、前指定管理者はルールに則り、4回に渡り協議を申し出ましたが、前市長は自ら結んだ協定の規定を破り、一方的に拒否しました。

そのため、前指定管理者は、定額納付金2,160万円のうち、838万1600円を納付していますが、残りの1,321万8400円については、風評被害額として納付には至っていません。

質問 定額納付金未収金を、令和4年度まで持ち越すことのないよう、解決手法は検討しているのか。

答弁 風評被害については、ルールに則り協議しなければならぬと思っています。

しかし、解決に向けては時間がかかり、混乱してしまった紛争であることから、双方の主張がなかなかまとまらず、解決するためには、公正・公平な司法の場で解決することが望ましいと、双方で判断しています。

そのことで、前指定管理者は、市を相手方として、民事調停申立書を宇陀簡易裁判所へ提出し、市は、6月16日に副本を受理しています。

今後は、民事調停申立書についての内容を協議し、和解という形で決着がつかうような対応を進めていきたいと思っています。



ただよしろう
多田 與四朗
議員

副市長の所信を問う

質問 「足元固め、財政の健全化」をどのようなプロセスで進めていくのか。

答弁 県と協議をしながら財政の改善計画策定に取組んでいる。9月議会に計画骨子案を、12月議会に計画を示す。1月に県と協定書を結ぶ。また、第4次行革大綱に立った施策を全庁的に進める。

質問 副市長の考える「直面する課題のクリア」とは何か、また、副市長としてのビジョンを持っているのか。

答弁 総論的には人口減少対策、各論的には持続可能な財政運営をすること。具体的には①美榛苑の在り方②ごみ処理施設の今後③榛原駅前をはじめとした県市連携の進捗具合④道路、上下水道等インフラ老朽化対応⑤施設の統廃合⑥公営企業の抜本的な改善の必要性等。ビジョンについては、市長公約を取り込んだ「総合計画」を今年度中に策定の予定。この着実な実行が将来の希望となると考える。

質問 副市長の役割（市長の求める外交対応とは）と職責について。

答弁 市長の補佐としての外交対応は、現場に出ているいろいろな情報を集めることを求められているが、コロナ禍が落ち着くまでは職責の中味を勉強、収まった各プロジェクト4室と外回りに汗をかく。一般職と違って市民の付託を受けた市議会の同意がなければ就任できない。市民の付託を受けているものと重く受け止めている。市長の命を受け、政策力、企画立案、信念に基づき行動し、イエスマンにならず自分の意志を持って市長に対する。

質問 市長とどう向き合うのか、また、市長に望むことは何か。

答弁 金剛市政を進める為、同じ方向を向いて職務を務める。併し、時と場合、案件によっては勇気を以て具申する。望むことは、今以上に、広い心をお持ち頂き私をはじめ、職員に市を良くする為にこの事業はこうやるんだ、終着駅はこうなるんだと熱い思いを伝えて頂ければ部下はビジョンを描き一生懸命に頑張ることができると考える。

●質問の中で、市長の補佐役としての気つき・要望として佐高信の「逆命利君」、後藤田五訓、渋沢栄一の勅定組頭としての考え方などを示しさせて頂いた。

きかせて！あなたの未来

No. 22

宇陀市のワカモノが将来の夢を語るコーナーです。



おおいえ いのり おおいえ いおり
 大家 衣濃理さん 大家 衣穂理さん
 高校3年 17歳

(衣濃理) 昨年、スタンフォード大学主催の遠隔教育コース「Stanford e-Japan」に合格、日米関係を学び、今春修了することが出来ました。私たち中高生は3年しかない学校生活の中、コロナにより多くのものを失いました。しかし、できることを見つけるチャンスだったとも思います。アメリカからの授業をオンラインで受けられる、Stanford e-Japanが私にとってそうでした。コロナの終息はまだ明確には見えませんが、できることを模索し、残り少ない高校生活を大好きなクラスメートたちと大切に過ごしたいです。

(衣穂理) 桜満開の4月、奈良県第6区間第一走者として聖火ランナーをつとめさせていただきました。ミニセレブレーションで心に響く演奏をくださった大宇陀中学校吹奏楽部の皆様、沿道で大きな拍手を送ってくださった皆様、ライブストリーミングで温かい応援をくださった皆様、そして宇陀市での聖火リレーに関わってくださったすべての皆様に心からお礼を申し上げます。皆様への感謝を忘れず、いつか宇陀市のお役に立てるよう、様々な挑戦を続けていきたいと思っています。

次回 9 月定例会

日	月	火	水	木	金	土
			9/1	2	3	4
				本会議 (議案提案)		
5	6	7	8	9	10	11
	本会議 (議案質疑)		常任 委員会	常任 委員会		
12	13	14	15	16	17	18
	決算 委員会	決算 委員会	予算 委員会			
19	20	21	22	23	24	25
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)			
26	27	28	29	30		
	本会議 (討論・採決)					

10：00 開会（日程・時間等変更の場合があります）

募集します！

きかせて！あなたの未来

上記のコーナー「きかせて！あなたの未来」に登場していただける宇陀市内にお住まいのワカモノの皆さんを募集します。

今、未来に向かって頑張っていること、将来の夢などをこのコーナーで語りませんか？

住所・電話番号・氏名・年齢・学生の方は学校名と学年・保護者氏名・社会人の方は職業を明記の上、自分の思いを270字以内にまとめ、写真添えて議会事務局へメール(gikai@city.uda.lg.jp)または持参か送付して下さい。

年齢は問いません。いきいき輝くワカモノの皆さんの応募をお待ちしています。

編集後記

編集委員長
 勝井太郎

5月に議会役員の改選があり議会だより編集委員会も委員の選任と正副委員長の互選があり、昨年引き続き委員長を務めることになりました。副委員長は宮田美紀議員が務めてくださいました。わかりやすい広報誌になるように委員一同努めてまいります。

コロナ禍ということもあり、夏祭りなどのイベントはほぼ中止になっています。このたよりが皆さんのもとに届く頃はオリンピックの真っ最中です。安全にオリンピックが開催されて、コロナ禍に沈む世界や日本の方々に勇気が与えられる素晴らしい運営と感動的なシーンが多くみられることを祈っております。頑張れ！日本！頑張れ！世界の国々！

お問い合わせ（議会事務局）

電話 0745-82-5771
 IP電話 0745-88-9082
 FAX 0745-82-0139

宇陀市ホームページ

<https://www.city.uda.nara.jp/>